

寺院：福島県第6教区第117番長松院

住所：福島県須賀川市諏訪町88

<p>寺院の被害</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震により本堂が一部損壊し、庫裡が半壊した。 ・坐禅堂、檀信徒会館、毘沙門堂、山門も一部損壊した。 ・境内の土木構造物にも被害が生じている。
<p>寺院の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年以上に及ぶ修復工事のため、寺族に疲れがみえる。 ・精神的肉体的疲労を抱えている。
<p>檀信徒の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・震災で自宅に住めなくなった方のうち転居先が不明な方もおり、居住先の把握が困難である。
<p>地域の現状</p>	<p>—</p>
<p>復興の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本堂は最大85mmの沈下があり、基礎部分の修復は大変困難な作業となった。ジャッキで柱を持ち上げたときには「ギシッギシッ」というものすごい音がして、本堂が壊れるのではないかと思うほどであった。現在は耐震補強まで終えることができているが、壁や欄間等、様々な個所の修復が必要であった。 ・坐禅堂の屋根は地震の揺れによって傷みがひどく、木地部分からの修繕が必要であった。 ・諸堂が被災したため修繕に時間がかかったが、復旧を完了させることができた。

(H25. 9. 19 現在)



左の写真は28mm沈下した毘沙門堂。本堂同様に、ジャッキをかけて慎重に高さを揃えていく。中の写真は本堂の不陸調整の様子。慎重な作業が必要であった。(撮影 H24. 9. 14)